

全国学力・学習状況調査の結果について（概要）

広島市立荒神町小学校

6年生児童を対象とした全国学力・学習状況調査が行われました。4月に2年ぶりに（昨年
は東日本大震災等の影響で未実施。）行われましたが、国内全ての学校を対象としたものでは
なく、抽出校方式で行われました。本校は抽出校ではありませんが、広島市がすべての学校に
問題の配付を行い、本校でも調査当日に同じ方法で行いました。

このたび、国・県・市の調査結果（抽出校分）が出ました。全国の結果や傾向を参考とし、
本校独自に成果や課題等を把握・検証しましたので、ご報告します。

調査の内容は、「国語」と「算数」の各教科に加え、本年度より始まった「理科」、それに学
校や家庭での学習や生活の様子に関する質問紙です。

国語

漢字を読んだり書いたりすることはほぼできています。書き順に従って正確に書くことも
できています。また、慣用句などの意味も学習したものはよく理解しています。教科書に限らず、
様々な文章の概要を一読して理解することができています。ここからも一般的に基礎基本と言
われる漢字や言語の習得がよくできていることがわかります。毎日真面目に学習してきた成果
と言えると思います。

一方、いくつかの課題が残りました。一つ目は書くことに関してです。文章を読み取り、そ
の要点をまとめることがやや不得手のようです。二つ目は、表現することです。読んだ文章の
続きを考え思いを巡らし表現していくなどの作業です。ただこれは子どもにとっては相当に力
を要するようで、本校だけの問題ではなく全国的な課題でもあります。

算数

整数の足し算・引き算・かけ算・わり算や小数のかけ算・分数の引き算・わり算など、四則
計算はよくできています。また、円の作図など丁寧さを問われる問題もよくできていました。
繰り返す中で定着を目指す学習は、日ごろの頑張りもあってよくできています。

一方、課題として以下のことが残りました。一つ目は、この問題は何算を使って解決するの
かを考える学習です。二つ目は、ものの面積の見当をつける学習です。はがきの面積を4つ
の中から選ぶという問題です。感覚を身につけているか否かを問う問題ですが、これらの解決に
は、繰り返すことと具体物を使った経験が必要です。学校でも様々な場面で指導をしていき
たいと思っています。

理科

物は形が変わっても重さが変わらないことや水に溶けても重さが変わらないことなど物質

に関する問題はよくできていました。また、季節による植物の成長や植物の受粉に関する問題など生命に関する問題もよくできていました。そして電磁石の問題などもよくできていました。これらは、授業の中で繰り返し実験を行ったり観察を続けたりした学習です。課題として残ったのは、日陰の位置の変化と太陽の動きの関係を問う問題や天気や気温の変化をグラフなどのデータから読み取る問題です。これらは日常生活との関連が大きく、日頃から自然に触れる学習を学校でも行っていきたいと思えます。

学習に関する意識調査

褒められたいからとか「やりなさい」と言われるからではなく、勉強が今の自分そして未来の自分のために役立つと思うから勉強していると意識しています。「最後までやり遂げてうれしかった」「もっとわかるようになりたい」と常に向上心を持って勉強し、達成感を感じている様子が見えます。予習までにはなかなか至っていませんが、復習の大切さは強く意識しており、頑張っているようです。国語と算数いずれにも高い意欲関心を持っており、国語や算数で学習したことが違う場面でも生かされると考えています。

また、これらの基礎・基本の力を活用して思考力や表現力等の必要な力として一層高めていきたいと思えます。

児童質問紙から

子どもたちの回答から以下のことが見えてきます。

- 朝起きる時刻は定着しています。(全体的に余裕を持って朝登校してきています)
- 朝食を食べる習慣が身についています。
- 挨拶も自分から進んでできています。
- 友達と一緒に活動する喜びを感じています。
- 宿題はもちろんですが、予習や復習も定着しています。
- 将来の夢や目標を抱いています。
- 決まりやルールを守って生活しています。
- 一方、今後の課題もいくつか残っています。
- 読書時間がもう少しあってよいと思えます。
- テレビを見たりゲームをしたりする時間が長いように思えます。

ここに上げたことは一部分ですが、全体的に、自分だけでなく友達と一緒に成長したいとの思いを持ちながら学校生活を送っていることがわかります。昨年度行った「基礎基本定着状況調査」での生活実態調査での質問内容に対する回答(設問そのものは違う)とほぼ同じような回答となっています。ここからも、5年生から6年生にかけて同じ思いを持って一步一步成長していることがわかります。

6年生については、卒業まで半年を切りましたが、学校生活全般でできる限りの経験を積み、毎日を自信を持って送ってほしいと思っています。

これからも学校と家庭そして町ぐるみで子どもたちの成長を見守り支えていきたいと思えます。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。